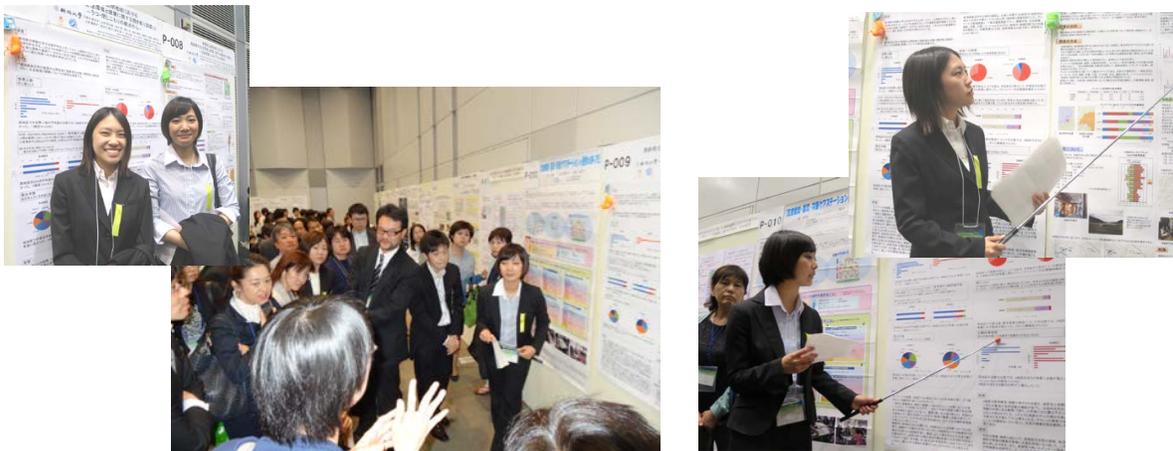


## 「第5回日本プライマリケア連合学会学術大会」のポスターセッションで発表しました

平成26年5月10日（土）に岡山市の岡山コンベンションセンターで「第5回日本プライマリケア連合学会学術大会」が開催されました。



このポスターセッションで、本学医学部医学科5年の山田明日実さんと鈴木里可子さんが、「豪雪中山間地域における高齢者の生活環境と健康に関する聞き取り調査(1)一位置情報によるアクセス解析ー」「同(2)ーうつ・閉じこもりの観点からー」と題して、当センターの「オール新潟による次世代医療人の養成」プログラムのプライマリコースの取り組みとして昨年10月に魚沼市で行われた、ソーシャルキャピタル測定のためのアンケート調査の成果を発表しました。調査した2地区の地勢、住民構成、かかりつけ医や買い物先へのアクセスについて、そして健康度、主観的幸福度などについて報告しました。



発表では2人とも非常に落ち着いて話しており、わかりやすいプレゼンテーションでした。フロアからは全国の先生方より多くのコメントが寄せられ、新潟でのソーシャルキャピタル測定のための取り組みをアピールするとともに、今後継続して行われる予定である調査への弾みとなるコメントをいただくことができました。